

3. めざす児童像にせまるための取組

学校教育目標

「つながい、高め合う北陽っ子」

**ちえだし
たまご**

**まえむき
たまご**

**きびきび
たまご**

<u>自分事として 自ら学び取る子 (学習指導部)</u>	<u>前向きな子 (生徒指導部)</u>	<u>きびきび動く子 (特活保育指導部)</u>
<p>○自ら考える子</p> <p>考えをもつための手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元構想 (教科等横断的な視点、育成したい資質・能力やゴールの明確化) ・教科の見方・考え方を働かせるための共通の軸の明確化 ・ICTの活用、次の学習につなげて自走できる学習環境づくり) <p>○学びを深める子</p> <p>学びを深めるための手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の思考の方向性をそろえるための意図的な発問 ・ねらいにせまるための学習形態の選択、交流の目的や視点 ・学びの視点 FOURS を活用した働きかけや見取り <p>学びの自覚化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びや変容を自覚するまとめ・振り返り、学んだことをいかす活用問題・適用問題等 	<p>○自分からできる子</p> <p>自己決定の場を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが選択・決定する教師の指導・支援 ・学校生活における模範的な児童のモデル化 <p>自己存在感を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成功体験を大切にした教師の指導・支援 ・やりきらせ、達成感をもたせる場の設定 <p>○優しくかかわる子</p> <p>共感的人間関係の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・学年における話し合い活動の重視（学級・学年経営の重視） ・生活目標の取組における温かな人間関係の構築 <p>安心安全な風土の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーについての指導・支援 ・多様な考えを認め合う集団づくり 	<p>○自分から動く子</p> <p><特別活動></p> <p>考え、判断し、行動する場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会、クラス会議での折り合いをつけて話し合う力の育成 ・行事はクラス・学年・全体を認める場に活かし、日常とつなげる ・「子できた⇨先・友認める」のサイクルの反復 <p>良いモデルの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の良い姿を認め、広める (姿勢、表情、働き →委員会・クラブ活動を活用) <p>○心も体も元気な子</p> <p><健康・運動></p> <p>正しい生活習慣の意識付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康観察の時間を活用 「さわやかチェック」 ・学期ごとの健康指導の継続 ・継続的な食育指導 <p>「運動を楽しむ」意識の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム性のある運動を取り入れる ・より多くの児童が楽しめるルールを設定した体育の授業の実施 ・「できた」達成感を味わえる指導